

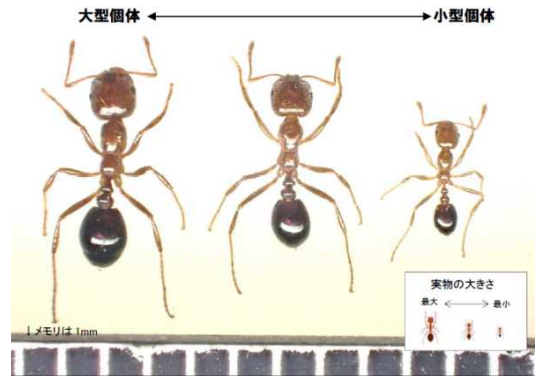
## ヒアリ・アカカミアリの水際防除

### (1) 種名 (学名)

ヒアリ (*Solenopsis invicta*)

アカカミアリ (*S. geminate*)

共に特定外来生物 (平成 17 (2005) 年 4 月指定) (右写真はヒアリ)



### (2) 生態の概要

- ・ 共にトフシアリ属 (*Solenopsis*) のアリで、強い攻撃性があります。
- ・ 刺された場合、体質によってはアナフィラキシー症状を起こす可能性があるなど、人体にとって危険な生物です。
- ・ 在来アリ類を駆逐するなど生態系への影響が懸念され、平成 17 (2005) 年に特定外来生物に指定されています。

#### ① ヒアリ

- ・ 体長 2-6mm の主に赤茶色のアリで、働きアリの体サイズは小型から大型まで様々な大きさです (上写真参照)。
- ・ 高い採餌能力や防御物質の分泌、働きアリの侵略などにより、他種のアリと競合し駆逐する可能性があります。
- ・ 女王アリは一日に 2000~3000 個を産卵することが可能です。南米中部の熱帯原産ですが、亜熱帯、温帯でも生息が可能です。
- ・ 水に浮んで集団で移動するなど高い拡散能力があります。

#### ② アカカミアリ

- ・ 体長 3-5mm の体色は赤褐色で頭部は褐色のアリです。働きアリの体サイズはヒアリ同様、様々です。

### (3) 分布状況の概要

#### ① ヒアリ

- ・ 南米中央部原産です。
- ・ 米国、オーストラリア、中国、台湾など環太平洋諸国に侵入、定着しています。
- ・ 国内での定着は確認されていませんが、平成 29 年 6 月に侵入が初確認されました。

#### ② アカカミアリ

- ・ アメリカ合衆国南部、中米、南米北部、カリブ諸島原産です。
- ・ 熱帯域を中心に中国、東南アジアなど多くの地域に侵入、定着しています。

- ・ 国内では、硫黄島で定着しています。沖縄島、伊江島では確認の記録はありますが、定着していません。

#### (4) 中国四国地方環境事務所の取組

##### ① ヒアリ

平成 29 (2017) 年度は、8 月 9 日 (報道発表日。以下同様) に岡山県倉敷市 (水島港) で 200 匹以上、24 日に広島県広島市 (広島港) で 131 匹、9 月 18 日に岡山県笠岡市で 1 匹、11 月 9 日に広島県広島市 (広島港) 及び広島県呉市で 73 匹、22 日に広島県広島市 (広島港) 及び広島県呉市で 8 匹確認されました。発見された個体は全て殺虫処分し、確認地点の周辺 2km において確認調査を実施しました。

平成 30 年度は 8 月 13 日に広島県広島市 (広島港) で 100 匹確認され、発見された個体は殺虫処分しました。平成 29 年度確認地点でのフォローアップ調査、68 港湾調査を実施しています。

##### ② アカカミアリ

平成 29 年度は、7 月 26 日 (報道発表日。以下同様) に愛媛県四国中央市で約 400 個体、8 月 14 日に山口県防府市で約 250 匹、11 月 27 日に広島県広島市で 3 匹確認されました。発見された個体は全て殺虫処分しました。

平成 30 年度は、6 月 3 日に愛媛県新居浜市で 1 匹確認され、発見された個体は殺虫処分しました。

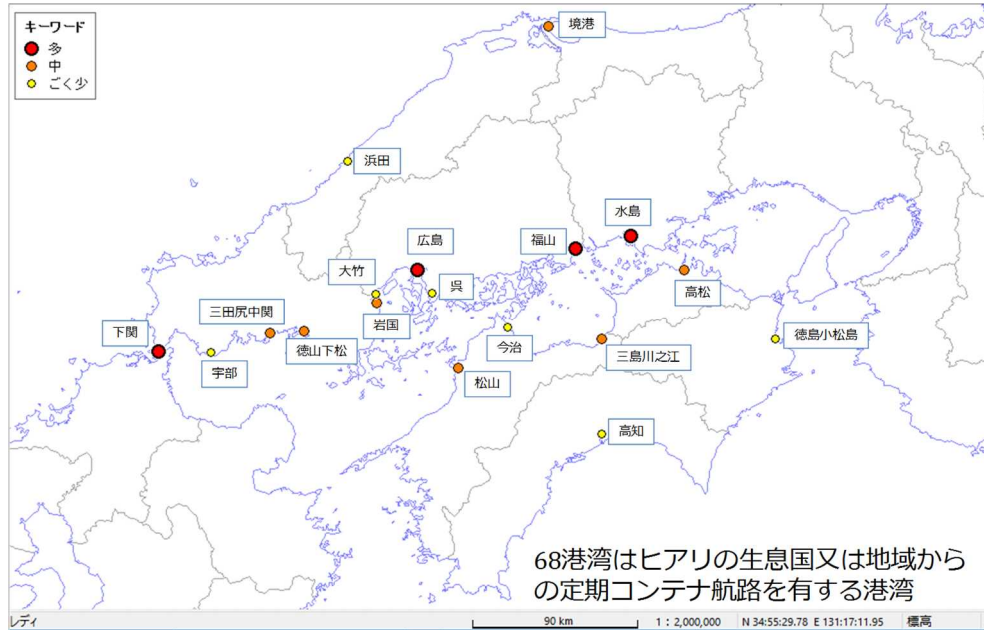


#### (5) 他機関、NGO 等の取組

- ・ 環境省：全国 68 港湾での確認調査を実施しています。
- ・ 国土交通省：全国 30 空港で確認調査を実施しています。

- ・農林水産省：植物検疫を実施する 156 の海空港で検疫時の目視確認・同定を実施しています。
- ・岡山県では独自に事業者や県民向けにヒアリ発見時の初期対応をまとめた「岡山県ヒアリ対応マニュアル」を作成しました。

<http://www.pref.okayama.jp/page/551929.html>



#### (6) 課題

港湾関係者への啓発は浸透してきていますが、コンテナを開封するのは輸入事業者であり、港湾から輸入事業者の敷地に搬入されてからの開封が多いことから、輸入事業者による監視体制のさらなる強化が重要です。